

# 日進月歩

令和2年3月23日(月)  
世田谷区立塚戸小学校  
6年学年だより NO. 16  
校長 石田 孝士

## ～別れの言葉編～

僕たちは色々な人に支えられて小学校生活を過ごした。僕たちを支えてくれる人がいたから、胸を張って卒業できる。

たくさんの人が多くのことを自分たちに与えてくれた。それを幸せに思い、感謝を伝えたい。ありがとうございました。

これまでのことを思い出すと、楽しかったことや苦労したことがいっぱいある。嫌なことから逃げず、頑張ることを学んだ。

感謝の気持ちを忘れずに、これからも未来に責任を持って生きていきたい。

知らないところで私たちを支えてくれた保護者の方々、いつもみんなを助けてくれた先生たち、登校するとき笑顔で送ってくれたTAPの方々。ずっと私たちを優しく見守ってくださりありがとうございました。

けんかもたくさんしたけれど、最後はみんなで笑い合えて最高の1年だった。

高学年になってたくましい顔になった。色々な行事があって協力し合って楽しかった。みんなと出会えてうれしかった。この出会いは奇跡。伝えきれないほどのありがとう。

これから僕たちは自分の輝ける道へと歩んでいく。これまで支えてもらった分、これからは支える人間になりたい。

みんなと塚戸小学校で出会えてよかった。ありがとう。そして自分を支えてくれた両親、先生に心の底からありがとう。

左に載せた言葉は、2月28日(金)にみんなで鑑賞した卒業対策委員さんが制作してくれた6年間の歩みの映像を観た感想です。「この仲間に出会えてよかった」「たくさん的人に支えられてきた」「ありがとうの気持ちでいっぱい」など、あたたかくて、すてきな言葉があふれていました。

本来ならば、この温かい言葉をつないで6年間で学んだことや成長したこと、そしてお世話になった方々への感謝の気持ちを「門出の言葉」として伝えられたらよかったのですが、残念ながら一人一人の呼びかけで伝えることができなくなってしまいました。しかし、みんなの思いをしっかり保護者や地域の方々に伝えたいと考え、卒業生代表として代表委員長が「別れの言葉」を壇上から伝えることになりました。代表委員長は、みんなの思いをしっかりと受け止め、別れの言葉を考えました。声に出せるのは一人ですが、189人全員の思いが込められていると思って、姿勢と表情で感謝の気持ちを伝えましょう。

### 別れの言葉　流れの確認！

- ① 司会が「別れの言葉 卒業生起立」と言ったら全員起立
- ② 卒業証書を持ったまま、回れ右をして保護者の方を見る  
(学年便りNo.14「立ち方のポイント」参照)
- ③ 代表児童の言葉が終わり、  
司会の「着席」の合図で前を向き、静かに着席

### 3月24日(火) 分散登校

#### 時間

10:45～12:15の間の15分間

※詳しくは3月16日のHPをご覧ください。

※あゆみを児童に渡します。

#### 持ち物

図書の本

#### 学習内容

・卒業式当日の流れについて

・卒業証書授与の練習

・所作について(気を付け、立つタイミング、歩き方、座り方、返事、礼の仕方)

明日は、ついに最終号・・・退場について！

卒業式を締めくくる最後の場面です！！